

空創店舗／H19. 4月 第2例会(ランチ・ミーティング)

平成 19 年 4 月 23 日(月)

まちやサロンに於

空創店舗

進行: 猪俣 / 記録者: 猪俣

参加者: 猪俣・中村喬・三田・板澤・中村豊

欠席連絡者: 田村

報告事項

1. まちなか散策ガイド 配布 4/30(月) 猪俣参加予定
2. シャッター押します！ボランティア 4/28～30日 5月3日及び4日 午前9:30 午後1:00
つつじヶ丘公園入り口(入場券売り場付近)集合 参加希望者は市役所・中村豊さん迄連絡

協議・検討事項

1. まち研の平成 19 年度活動テーマについて(猪俣)

山本: テーマの継続は可能かどうかという問題があるが今年こそ「こだわりと進化の一年」では?

三田: 空創の個別テーマとして「主張と拡大の一年」を掲げたい

中村: テーマ設定が機能していないという懸念があるが個人的には『原点回帰』を掲げて空き地空き店舗の有効活用を考えたい。

猪俣: まち研のテーマとしては NPO 法人化も視野にいれ「起動の一年」はどうか?

⇒ ∴ まち研全体の活動テーマについては提案しにくい部分があるが、**空創店舗の個別テーマとして『主張と拡大の一年』**を掲げる。他グループについては個別の検討をお願いする。ただし事業計画に沿った事業運営を心がけ、年度末には内部評価を徹底していただくようリーダー等会議に提言する。

2. 空創店舗メンバーの例会等への参加姿勢について。(板沢)

板沢: メンバーの間で経験やスキルの違いがあり、負担を感じることもあるが?

猪俣: 参加メンバーは参加に対して“問題意識”があるはずで、その問題解決方法が問題でありスキルを問題にすべきでない。

三田: 空創店舗の例会に参加し、何かをし遂げようとする“向上心”を大切にしたい。

中村: メンバー間のスキルの差ではなく“できることから役割分担”をしていければいいのでは?

山本: ボランティア・グループに参加するということは様々な意見が出て当然で、今日の意見も大切にして合意形成を考えていくべきではないか?

板沢: 主婦であり消費者であるという“感覚”を大切に、気付いたことを報告していきたい。